

こやのせだより

北九州市八幡西区大字野面630 (Tel 617-2765)
平成29年7月20日 発行責任 校長 藤井 英貴

さあ、夏休みだ！！～がんばった、1学期

大雨で2日も臨時休校になった1学期も、梅雨明け間近の今日、無事に終わりました。体育館に並んだ子どもたちの顔は、始業式、入学式の時とは全くちがひ、本当にたくましくなりました。わずか3ヶ月間ですが、子どもたちの成長には、目を見張るものがあります。

さて、明日から40日以上休みが続く夏休みは、子どもたちにとってはうれしい休みですが、保護者の皆様にとっては、長くてちょっと大変な休みかもしれません。学校から配布する「夏休み よい子の一日」などを一緒に読みながら、休み中にもきまりを守り、規則正しい生活ができるように、ご家庭でも話し合ってみてください。そして、2学期が始まる9月1日に全員元気に登校できるように頑張ってください。

◇「あゆみ」を渡しました ～「頑張り」をほめてください◇

今日、子どもたち全員に通知表「あゆみ」が渡されました。私は、全員の「あゆみ」を読みました。「あゆみ」には、子どもたち一人一人のよいところ、1学期に頑張ったことが書いてあります。また、2学期以降頑張りたいことが書いてある場合もあります。子どもさんと一緒に読んでいただき、頑張ったことについてはおおいにほめてください。そして、頑張りたいことについては、夏休みから取り組めるように、休み中の学習や生活の計画に入れるようにするとよいですね。ご家庭で子どもさんと話し合っ取り組んでいただければうれしいです。

☆「木屋瀬っ子、学びのまど」スタート！☆

～ 学校ホームページから学習プリントをダウンロード ～

子どもたちが、家庭でも進んで学習できるように、「木屋瀬っ子、学びのまど」を開設しました。木屋瀬小学校のホームページから漢字や計算のプリントをダウンロードすることが出来ます。

夏休みには、各学年から宿題も出ていますが、毎日の課題が終わった後などに10分程度でできるプリントばかりです。今のところ、各学年で学習する漢字と計算が速く正しく出来ることを目指すマス計算のプリントをアップしています。今後、より多くの子どもたちが、目的意識をもって活用できるように、少しずつ内容を充実させていきたいと思っています。裏面に活用の仕方を書いていますので、ご覧ください。

◎学校のホームページアドレス

<http://www.kita9.ed.jp/koyanose-e/>

◇二度と戦争を起こさない～7/11 平和集会◇

11日(火)の1校時に全校放送で「平和集会」をしました。私は、本校の西門横に植樹された「嘉代子桜」のことを話しました。また、その話の後には、「100ばんめのさる」というビデオを視聴しました。

戦後70年以上経った今もなお、紛争や戦争状態にある国があります。また、核兵器や大量破壊兵器を開発している国もあります。このような状況の中、平和を訴えていくためには、一人一人が「100ばんめのさる」になって、次々に思いを伝えていくことが大切だ、というような内容のビデオです。

～～～【子どもたちに話した内容】～～～

今から70年ほど前、日本は外国と戦争をしていました。その戦争では、兵隊として戦っていた人たちだけではなく、女性やお年寄り、子どもも含めてたくさんの人が命を失いました。そして、昭和20年8月6日に広島、8月9日には長崎に原子爆弾が投下されて、さらに何十万人もの人が亡くなりました。

嘉代子桜は、長崎で原子爆弾が落とされた時に亡くなった、林嘉代子さんのお母さんが平和への思いを込めて、原子爆弾を落とされた中心地の学校に植えた桜の木です。

実は、8月9日に長崎に落とされた原子爆弾は、はじめの予定では皆さんが住んでいる北九州に落とされるはずでした。しかし、その日は北九州の空が雲に覆われていて、目標としていた工場などが見えなかったため、長崎に変更されたのです。もし、予定通り北九州に落とされていたら、今の皆さんの家族、そして皆さんはここにはいなかったかもしれません。そのようなことから、北九州市内の小学校に嘉代子桜の子どもの木を植えて、平和の大切さを伝えることにしたのです。

世界の中でその戦争が終わってから、一度も戦争をしていない国は数えるほどしかありません。日本はその戦争が終わってから72年間、一度も戦争をしていません。私達は、このことを誇りに思わなければなりません。

この後に観るビデオの中で出てきますが、世界の国々の中には、原子爆弾を作ったり、それよりもっと威力の強い爆弾を作ったりしている国もあります。私たち日本人は、原爆による被害を受けた世界ただ一つの国として、これからも二度と戦争を起こさないように、そのような爆弾を使うことがないように、一人一人が「100番目のサル」として平和の大切さを伝え続けていかなければなりません。

そのようなことを考えながら、この後のビデオを観てください。

西門横の嘉代子桜の木は、ぐんぐん生長しています。すでに二宮金次郎の像を遙かに上回る高さになっています。今後も子どもたちの成長に負けないように大きくなっていくことだと思います。子どもたちには、この木を見ながら、平和の大切さに思いを馳せてほしいと思います。

また、6年生は全校児童が折った折鶴を、9月の修学旅行で、長崎の平和祈念公園に奉納してきます。このような取り組みを毎年行なうことで、平和を守ることの大切さを教えていきたいと思っています。

ぜひ、ご家庭でも戦後70年を過ぎた今、子どもたち一人一人が、「平和の大切さ」や「命の大切さ」などについて考える機会をつくってほしいと思います。



【西門横の嘉代子桜】

「嘉代子桜・親子桜」

昭和20年8月9日11時2分、長崎市に原爆が投下されました。

爆心地近くの城山国民学校(現城山小学校)で「学徒報国隊員」として働いていた長崎県立高等女学校4年生の林嘉代子さん(当時15歳)も多くの女子学生とともに原爆の犠牲になりました。

お母さんの林津恵さんは、嘉代子さんを偲ぶとともに、満開の桜が娘の嘉代子さんと多くの女子学生の魂をなぐさめ、人々の励ましとなるよう、願いをこめて城山小学校の校庭に桜の木を植えました。

同小学校に植えられた桜は、「嘉代子桜」と呼ばれ、今も母と娘の平和の心を伝えています。

昭和20年8月9日の原爆投下は、当初、北九州市にあった小倉陸軍造兵廠を目標としていましたが、当日の小倉上空が視界不良であったため、第二目標の長崎に投下されたのです。

このことを願ひ、北九州市においても二人の平和への思いを広げていくため、この桜を「嘉代子桜・親子桜」と名付け、ここに植えて育てていくことにしました。

城山小学校の「嘉代子桜」とともに、「嘉代子桜・親子桜」の成長を通じて、ひとりでも多くの人々に平和の心が広がり、後世に伝わっていくことを願っています。

平成25年11月22日

北九州市

北九州市立木屋瀬小学校

桜の寄贈 かよこ桜・親子桜を広める会

【嘉代子桜の説明パネル】